

**総合的な学習の時間
(福祉体験)**

藤沢市立湘洋中学校

単元(題材) 目標

- ・『手話』を通してコミュニケーションの重要性や「聞こえない存在」について気づかせ、障害を『自分のこと』としてとらえさせ、自分にできることを考えさせる。

(1) 実施時期

6月

(2) 対象(学年等・人数)

2学年 79名

(3) 指導者(教諭・外部講師等)

本校教諭 外部講師: Aさん・Bさん(通訳)

(4) 実施内容

- ・『聞こえない』障害について 「聴覚障害者とは」
- ・『聞こえない』ことによる体験談
- ・手話以外のコミュニケーション方法を考える
- ・口話・読話『伝える体験』
- ・手話を覚える基本的あいさつ
- ・手話ソング『小さな世界』手話を使って歌う

(5) 成果

- ・生徒は、講師から自分の名前を手話で表す方法を教わり、自己紹介が出来るようになった。また、聴覚障害者の苦悩を知り、自分に出来ることは何かを考えるようになった。

〈生徒感想 一部抜粋〉

聴覚障害者は見た目では分かりません。でも今回の体験を通し、「どう声をかけたらいいか」ではなく「どう接して助けてあげればいいか」と考えるようになりました。自分にできることは何か、人のために何かしてあげたいと思いました。今、自分が当たり前に行っていることは誰かにとっては当たり前ではないかもしれない。今、当たり前に行っていることに感謝し、自分が出来るようなことから、助けてあげたいと思いました。